

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 町民バスとスクールバスの乗り合い化について	町民バスやスクールバスは、児童・生徒や高齢者を含め町民にとって欠かせない移動手段です。
	一方、予算は合計9,000万円程度かかっており、今後、安定的な運行に加えて健全な町財政を維持していく上で経済的な効率性も求められます。
	また、乗り合い化を進めることは、異世代間の交流や子どもたちの社会性を身につけるきっかけにも繋がり、様々な阻害要因を解決する必要があると思いますが検討を加速化させるべきと考え伺います。
	(1) 町民バスとスクールバスの統合（乗り合い化）について、担当課と教育局でどのような検討をしていますか。
	(2) 全ての路線ではなくても、一部の路線や曜日から少しずつ乗り合い化を進めることが、検討から実施に移行する上で重要だと考えますが、この点についての見解を伺います。
	(3) 町長は3月定例会の施政方針に対する質疑の中で、町民バスと通学バスの整理について検討の必要性を示されましたが、この点も踏まえ町長の見解を伺います。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 育児休業中の保育所 継続利用について	下の子が生まれて親が育児休業を取得すると、
	家庭で保育が可能とみなされ、既に保育を利用し
	ている子どもが継続して保育を利用できないこと
	がありますが、この点について伺います。
	(1) 本町では育児休業取得時、既に保育利用し
	ている子の取扱いはどのような現状ですか。
	(2) 育児休業中に既に通っていた子が保育所に
	通えなくなる弊害として、精神的なストレ
	ス、核家族化が進む中で上の子と生後間もな
	い下の子の面倒を見る保護者の育児不安など
	が挙げられます。子どもたちの環境の変化に
	よる影響や保護者の育児支援を考慮し、上の
	子が継続して保育施設を利用できる自治体も
	増えていますが、本町ではこの課題について
	どのように認識していますか。
	(3) 本町で子どもを産み育てやすい環境を整備
	する上で、育児休業取得時に既に保育を利用
	している子が保育継続できる要件を緩和して
	「継続希望の尊重」にシフトすることが重要
	だと考えますが、見解を伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)